

平成 23 年 3 月 16 日

各 位

イリソ電子工業株式会社
代表取締役社長 今津敏行

東北地方太平洋沖地震の当社業績への影響について

平成 23 年 3 月 11 日(金曜日)に発生いたしました東北地方太平洋沖地震の当社における現時点での影響ならびに把握している被害状況につきまして以下のようにお知らせいたします。

記

1. 被害の状況について

(1) 人的被害の状況について

現時点での当社グループの従業員への人的被害はございません。

(2) 生産活動への影響について(茨城工場)

当該地域に所在する生産拠点である茨城工場(茨城県常陸大宮市)につきましては、地震などによる建物・製造設備等への大きな損傷はございません。

12日より設備点検を開始し、16日より順次稼働を再開いたしました。

当初、茨城県は計画停電の対象地域に指定されておりましたが、現在は解除となり、電力面での支障はなくなりました。不測の事態に備えて発電機を設置するなど、生産活動に支障の無いよう万全の準備を完了しております。

(3) 事業所の状況について(その他拠点)

当該地域に所在する東北営業所(岩手県奥州水沢区)ならびに東関東営業所(茨城県常陸大宮市)につきましては、現時点での地震・津波などによる建物・設備等への損傷は無く、14日より通常業務を開始しております。

尚、本社・イリソテクノロジーパーク(新横浜)、生産技術開発センター(川崎)につきましては、建物・設備等への地震の影響はございません。

2. 今後の見通しについて

14日より開始された電力会社の計画停電への協力、全国的高速道路の通行止めなどによる物流の滞りなど、今後、さまざまな影響が予測されます。

現在、弊社においては、地震対策本部を立ち上げ、情報収集に努めて対処していく所存でございます。今後の業績への影響の詳細が明らかになりました時点で随時お知らせいたします。

以上